

## コロナ禍での就業



### コロナ禍のなかでのパーテーションづくり

安達 茂行

シルバー人材センターでの仕事は、モノの修理や簡単な物づくり等々あまり目立たない作業で、いわゆる雑用仕事をさせていただいております。その関係からか、シルバーの会員の方と一緒に仕事をするとはほとんどありません。

コロナ禍の中での仕事で特に苦労はありません。そんな中でコロナに関連するような仕事時々あります。その一つがパーテーションづくりです。シルバー人材センター事務所のパーテーションづくりをいち早くご依頼いただきました。事務所の中にあるパーテーションは、私がつくったものです。

このように、事務所の中でも会員の方が目にされる私がつくったモノが何点かあります。つくりものはしばらくは残りますので、仕事としてやりがいがあります。

会員の方々と一緒に、まだまだ社会の一員として頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いします。



### ワクチン接種会場での活動を終えて

松本 弘

私は、65歳以上の高齢者に対するコロナワクチン接種会場で活動をしました。

会場は小学校の体育館で、その入り口で接種に来られた方々への受付案内係です。朝9時から夕方までひっきりなしに多くの高齢者が来られました。耳が遠い方、足の不自由な方、車椅子利用の方、介助が必要な方等、様々な方が来られましたが、どの方もこちらの案内をよく聞いてくださり、気持ちよく仕事ことができました。

近所の顔見知りの方からも「こんなところで頑張っているんですね。ご苦労さまです」と声をかけていただき、気恥ずかしく感じることもありました。

一日中、立ち仕事ではありましたが、同じ精華町の住民皆さんのためになっているんだなと思うと、この仕事が誇らしく思え、疲れも感じなかったような気がします。

### 消毒作業で子どもたちから元気をもらおう

山本 洋子

私は今、小学校で新型コロナウイルス感染防止の消毒作業をしています。最初はコロナウイルス感染症がこんなに長引くとは思っていなかったのですが、消毒作業がこんなにも長く続くとは思っていませんでした。未だに収束したとはいえない状況です。

教室以外の室内、トイレ、外回りなど、子どもたちが触れそうなところを念入りに消毒しています。「ここも」、「こういうところも…」と、子どもが触れそうなところはたくさんあり、拭く作業の必要などころがどんどん増えていきますが、子どものためにと頑張っています。この仕事をやり始めた頃は、風が吹くと消毒液が舞い散り、顔によくかかっていたのですが、今はそういうときには先にペーパーに消毒液を吹き付けて消毒箇所を拭くなどの工夫をしています。

消毒作業で校内を回っていると、子どもたちがいつも元気に挨拶をしてくれます。「こんにちは」、「ありがとうございます」としてくれるのがとても気持ちよく、元気をもらえます。

「この子たちを絶対にコロナ禍から守るよ!」という気持ちで、日々作業をしています。子どもたちも窮屈な思いをしていると思うと胸が痛みます。早くコロナ禍が収まり、元の生活に戻ってほしいものです。



### 日常の感染予防対策を

竹谷 麗子

コロナウイルスを侵入させないようにということで、会員の皆さま方が手で触れると思われる所を消毒するという仕事をセンターでさせていただいております。

ドアノブ、椅子、机、手すり、郵便受け、電気のスイッチなど、思えばいくらでもあるものだなあーと改めて再確認しております。菌がついていれば菌が取れるようにと思いつつ、とてもいい仕事です。

コロナ感染が出始めたころは、コロナ、コロナと大変な騒ぎで、とても恐ろしいような思いを抱いていたのですが…。最近、とても良い薬ができて、経口ワクチンや治療薬の話などを聞き、少し静かになってきてコロナも収束を迎えようとしているのかな?と思っていました。またちらほらとコロナの音が聞こえてきているように思います。

いつコロナの第六波がきてもだいじょうぶなように、手洗い、うがい、マスク着用、密を避けて生活していきたいと思っております。



### 年末年始も感染予防対策を

姫田 ケイ子

コロナ感染者が減少していますが、まだ安心はできません。

私はセンターで火曜日に消毒の仕事をしています。人が触れるところを消毒布でいいいに拭きます。他の曜日にも他の方により、同様に拭き取り作業がされています。多目的室でその作業をしているときは、以前のようにサロンが開催され、会員の皆さんが楽しく集う日が一日も早く戻ってきてほしいと願う気持ちでいっぱいです。

年末年始に向けて、外出する機会がどうしてもふえそうです。感染要望対策を怠らず過ごしていきたいと思っております。